

大切な水

「みなさんは、水をあたりまえのように使っていますか。」

人間の中には、水があたりまえのようにあると思っっている人もいます。たしかに水はとてもいいものです。ですが、水は人間がおこした行動・過ちにより、大変なことになる時があります。そんなことにならないようにするための取り組み法を3つ紹介します。

まず1つ目は、「節水の取り組み」です。私は節水という取り組み法はとても大事なことだと思いません。

なぜなら、節水をすることで水道代や水不足にならずにすむなど逆に人間が助かると思うからです。

私の家でも、洗面所の水が少しずつチョロチョロでていることがあったり、お風呂で水を使いすぎたりする時があります。

山添村立山添中学校 二年 浦 陽菜

みなさんは、どこかに出かけたりに旅行に行ったりした時に、『節水に』協力おねがいします』という言葉を聞いたこと見たりしたことはありませんか。たぶん、この世の中には、自分たちに関係のない場所であれば、どれだけ水を使おうが自分の勝手だと思っっている人もいます。でもこれは決してそうではないんです。私たちが使いすぎると、お店の人などがとても大変です。水道代を払う側の身にもなってお出かけ先での水の使いすぎには十分注意しましょう。

そして、2つ目は「家から出る水をひどく汚さない取り組み」です。

この取り組み法は、私たちの生活を守ると言ってもいいですよ。

なぜなら、ひどく汚れた水がいろんな所へ流れ出ていってしまうと、ちがう人の生活で

迷惑になるかもしれないからです。

私の家でも、お風呂に入ってからで頭を洗う時にシャンプーやリンスをつけすぎてしまうことがあったり、体を洗う時だつてボディソープをつけすぎて洗ってしまうことがよくあります。こうして流れてしまうと、水がほとんど泡となくなつたりして流れ出ていってしましますよね。他にも、みなさんの家では、ほとんどお母さんが食事後の食器を洗いますよね。中には、自分で洗うという人もいるのかもしれませんが、洗う時、洗剤をつけすぎて洗っていませんか。洗剤をつけすぎて洗わなくても、少しの量でも洗い方を工夫すれば、水も守ることができるとは思います。

「地域の川や池をきれいにする取り組み」です。この取り組み法、私はこれまでで紹介した2つのことが関係していると思います。なぜなら、節水をしていなければ、水が流れ出す量が増えて、川の水が増加してしまつたり、家から出る水があまりにも汚れていると川の水の色が変化したり、泡だらけになつてしまうこともあるんです。私も時々、近所

の川を見ると、水が茶色くなつていて、水が増えている時や、泡が川の端にたまって、起こつてしまつたのは私たちのせいでもあるんです。もしくは、自然になつてしまつたのかもかもしれませんが、こうなるとするのは、誰かが水に対して自然を大事にしなければいけないという意識・心がないんです。地域の川や池をきれいにしていくには、まず自分にきびしく、そして周りの人にも少しずつ、心がけるよう呼びかけましょう。

さて、みなさんに3つの取り組み法を紹介しました。私はこの3つの取り組み法はどれも、とても大事なことであります。これらすべて、いやもつと他にもあるかもしれませんが、私たち人間は水に対する感謝を忘れずに生きていきたいと思ひます。